



10月はがん検診集中月間！

毎年10月は、がん検診受診集中キャンペーン月間となっています。「がん」は日本人の死因第1位！2人に1人が「がん」に罹患し、3人に1人が「がん」が原因で亡くなります。「がん」は早期発見・早期治療ができれば90%以上の確率で治る病気です。早期発見・早期治療には「がん検診」を受診することが一番の近道です。

しかし、串間市のがん検診受診率は1割程度と大変低い状況です。がん検診を受けない理由を調査したことがあります。その多くは「忙しい」「時間が無い」「病気が見つかることが怖い」「何も症状がないから大丈夫」といった内容でした。日々の忙しさにより、分かっ

てはいても自身の健康はつい後回しにしがちです。しかし、検診を受けることで救える「命」があります。

がんは、自身もつらい思いをしますが、家族も本人と同じくつらい思いを抱えます。検診を受け自身の健康を維持することは、愛する家族への贈り物にもなります。自分のため、家族のためにがん検診を受診しませんか。

串間市では、「胃がん」「大腸がん」「肺がん」「乳がん」「子宮頸がん」の5つのがん検診を実施しています。バス検診と医療機関での受診からご自身の都合の良い方法を選択できます。串間市の検診は完全予約制です。お早めのご予約をお願いします。

問 医療介護課健康増進係 ☎72-0333

高齢者インフルエンザ予防接種が始まります！

串間市では、予防接種法に基づき、インフルエンザ予防接種の助成を行っています。予防接種の効果と副反応についてご理解の上、接種をご検討ください。

なお、インフルエンザワクチン接種については、新型コロナウイルスワクチン接種の日から前後2週間以上空ける必要はなく、同時接種も可能です。ご希望される場合は、かかりつけ医にご相談ください。

医療機関によって接種できる日程が異なりますので、接種の際は医療機関へのご確認をお願いします。

●助成対象者

串間市に住民票がある

①65歳以上の方（65歳の誕生日の前日から対象となります）

②満60歳以上満65歳未満の方で、心臓、じん臓、もしくは呼吸器の障がいまたはヒト免疫不全ウイルス（HIV）により免疫機能の障がいを持つ身体障害者1級の方

●接種期間

10月2日（月）～令和6年1月31日（水）

●自己負担金

1,400円（医療機関の窓口で支払い）

※生活保護世帯の方は、生活保護受給証明書を提出することで無料となります。

●接種を受ける際の持ち物

- ・予診票（市総合保健福祉センターまたは各医療機関に用意してあります）
- ・健康手帳（お持ちの方のみ）
- ・保険証

●市内で接種を実施する医療機関

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
はなぶさ消化器・内視鏡クリニック	☎ 74-1187	岡村クリニック	☎ 72-7710
ゆうゆうの森クリニック	☎ 55-9111	串間中央クリニック	☎ 27-3181
県南病院	☎ 72-0224	アイレ HD クリニック串間	☎ 55-8181
のだ小児科医院	☎ 71-1112	とめのファミリークリニック	☎ 76-1425
にいな内科・循環器科	☎ 71-1711	串間市民病院	☎ 72-1234
市木診療所	☎ 77-0349		

※医療機関によっては事前に予約が必要です。希望される医療機関にお問い合わせください。

※串間市外の医療機関であっても、宮崎県内の医療機関であれば接種できる場合があります。

問 新型コロナウイルスワクチン接種対策室 ☎72-5678

臨床検査室のご紹介

皆さまこんにちは。

暑さも和らいで、幾分過ごしやすくなりましたが、これからは気温が下がるとともに体調を壊しやすい季節になっていきます。病院に足を運ぶ機会も多くなるのではないのでしょうか。症状によっては、血液検査や尿検査などを受けられることもあると思います。

今回は、当院の検査室の紹介や、検査を上手に受けていただくために注意することなどを簡単にお話ししたいと思います。

臨床検査室は採血室の奥にあります。検査室には、たくさんの測定装置があり、患者さまから採取された血液や尿などの検体検査や、患者さまから直接情報を得る心電図やエコーなどの生理検査を行っています。現在、臨床検査技師4名（男性2名・女性2名）で分担して業務を行い、緊急時にもオンコールで24時間いつでも検査できる体制をとっています。

検査の種類

（串間市民病院検査室で主に行っている検査）

- 生化学検査…肝機能・腎機能・脂質・糖などを調べます。
- 血液検査…赤血球・白血球・血小板の数を測定し、炎症反応や貧血を調べます。
- 輸血検査…ABO式血液型の判定や輸血時の血液製剤との適合性を調べます。
- 一般検査…尿や便の成分を観察して、糖尿や血便になっていないか調べます。
- 心電図…心臓の微弱な電気信号を拾って、心筋梗塞・不整脈などを調べます。
- 呼吸機能検査…息を吸ったり吐いたりして、肺の機能を調べます。
- エコー検査…体の表面から超音波をあてることで、画像にして病気を見つけることができます。
- 動脈硬化（ABI・CAVI）検査…両腕・両足の血圧を同時に測定して動脈の硬さや詰まりの程度を調べます。
- 眼底カメラ…目の血管の変化を見て、糖尿病網膜症や白内障など目の病気が分かります。
- 細菌検査…細菌を染色・培養して病気の原因になっている菌を見つけます。



※項目によって、採血管の種類が異なります。採血時に何らかの原因で赤血球が壊れて溶血が起こると、多くの検査項目に影響を及ぼすため、患者さまにもう一度採血の採り直しをお願いすることがあります。



顕微鏡で細菌を探しています



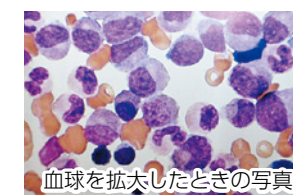
採血の写真



心電図検査



眼底カメラ



血球を拡大したときの写真



検査時の様子



検査機器の写真

検査値には、個人差もありますので、検査値が基準範囲内から外れたからといってそれだけでは病気と診断されるわけではありません。病気かどうかの判断は、提供された情報と患者さまの身体の状態を診て医師が総合的に診断します。

また、性別、食事、時刻、運動、喫煙、妊娠の有無は検査値に影響を与えます。

事前に検査の内容が分かっているときには、注意事項を確認して検査を受けてください。

串間市民病院 臨床検査技師 森 和枝

問 串間市民病院 ☎72-1234